

# 路線バス利用者の増加を目指して

## 小野町地方バス路線対策協議会を開催

平成19年度の小野町地方バス路線対策協議会を、6月1日に開催しました。

この協議会は、小野町における地方バス路線の総合的な運行、維持対策について調査審議する機関で、沿線の行政区長、学校関係者や学識経験者など17名の委員で構成されています。

協議会では、小野町の現在のバス路線の運行状況、今後の運行計画等について協議を行いました。

各委員からは、具体的なダイヤ改正や増便の要望が出されました。利用しやすい運行方法が利用者の増加につながることから、積極的な対応をバス事業者に依頼しました。

小野町のバス路線は、バス事業者3社により5路線で運行が行われていましたが、平成18年度に2事業者の2路線が廃止されました。

これは、自家用車の普及や少子化の進行などの理由から路線バスの利用者が減少しているためで、地方バス路線の維持が大変難しい状況になっています。

このような状況をふまえ、町では路線バスを児童・生徒や高齢者など交通弱者といわれる方々の移動手段、また、地域生活を支える重要な存在であると認識し、路線の維持に努めています。最近では、JRバス関東(株)が運行していた小野町と石川町を

結ぶ路線が平成19年3月末で廃止されましたが、沿線町村で路線維持に向けて活動した結果、福島交通(株)が路線を継承し、運行することになりました。

この結果、平成19年度の小野町における地方バス路線は、福島交通(株)が運行する4路線となります。

町では、今後も沿線市町村や関係機関、バス事業者と利用状況の分析や利用見込調査を実施し、地域の実情に最も適した公共交通機関のあり方について協議検討を行っていきます。ぜひ、利用者である町民のみなさんの声をお聞かせください。委員に委嘱された方は、別表のとおりです。

◆問い合わせ 企画課 ☎72-6939

小野町地方バス路線対策協議会委員名簿

	氏名	役職等
会長	長久保 喜 伸	小野町行政区長会長
副会長	榎 田 忠 夫	小野町商工会長
委員	先 崎 直 人	谷津作行政区長
"	草 野 今朝美	小野赤沼行政区長
"	吉 田 泰 男	菖蒲谷行政区長
"	鈴 木 徳 治	雁股田行政区長
"	郡 司 節 男	飯豊上行政区長
"	佐 藤 勝 喜	飯豊下行政区長
"	藤 井 崇	浮金行政区長
"	常 恒 武	塩庭二行政区長
"	草 野 良 英	上羽出行政区長
"	春 山 益 雄	小野町PTA連絡協議会会長
"	國 分 喜 正	小野町教育委員会委員長
"	西 牧 裕 司	小野新町小学校長
"	矢 内 今朝見	小野中学校長
"	湯 田 嘉 朗	小野高等学校長
"	籠 田 良 作	公立小野町地方総合病院事務長

(敬称略)

地方バス路線町負担金額

路線名		平成17年度	平成18年度	比較
福島交通(株)	永田経由後川線	2,263,800円	2,446,021円	182,221円
	小野猿内線	1,857,094円	2,328,391円	471,297円
	郡山小野線	2,006,442円	1,541,065円	△465,377円
	小計	6,127,336円	6,315,477円	188,141円
新常磐交通(株)	上三坂小野新町線	2,310,677円	2,544,352円	233,675円
	小野新町高部線	1,465,829円		△1,465,829円
	小計	3,776,506円	2,544,352円	△1,232,154円
総額		9,903,842円	8,859,829円	△1,044,013円

平成19年度地方バス路線計画

(平成19年10月～平成20年9月)

路線名	沿線市町村	現在の運行回数	運行計画
永田経由後川線	小野町 平田村	3.0回	3.0回
小野猿内線	小野町 田村市	3.0回	3.0回
郡山小野線	小野町 郡山市	6.0回	6.0回
小野石川線	小野町 平田村 玉川村 石川町	4.0回	4.0回

※運行は全て福島交通(株)



福島交通(株)が運行する小野石川線

地方バス路線運行状況

(平成17年10月1日～平成18年9月30日の実績)

バス事業者	路線名	沿線市町村	運行距離	平均乗車密度(注)
			運行回数	
福島交通(株)	永田経由後川線	小野町 平田村	21.1 km	2.0人
			3.0	
	小野猿内線	小野町 田村市	14.9 km	0.8人
郡山小野線	小野町 郡山市	33.6 km	4.6人	
		6.0		
新常磐交通(株)	上三坂小野新町線	小野町 いわき市	17.4 km	0.5人
			2.0	

(運行回数は平日のみ記載)

(注) 平均乗車密度 バス1便あたりの平均乗客数。始発から終点まで常に乗っている人を平均した数。乗客一人ひとりが乗った距離を加えて走行距離で割る。一般的に、平均乗車密度が5.0人以上でその路線が黒字になるといわれる。